

要 覧

平成27年度



福岡県立図書館シーボルトコレクション「日本植物誌」より（「サザンカ」）

福岡県立図書館

目 次

1	沿 革	1
2	運 営 方 針	
	(1) 基本方針	3
	(2) 平成27年度重点目標	4
3	組 織	5
4	福岡県立図書館協議会委員	6
5	予 算	6
6	施 設 の 概 要	7
7	利 用 案 内	7
8	統 計 資 料	9
9	平成26年度事業	16
10	平成26年度図書館評価	21

表紙「 サザンカ *Camellia sasanpua* 」

当館所蔵 シーボルト編『FLORA JAPONICA』（日本植物誌）より。

シーボルトは、日本で収集した多くの標本を本国オランダへ持ち帰りました。

『FLORA JAPONICA』（日本植物誌）はその標本をもとに編纂され、1835年から1870年にかけて第一編10冊、第二編10冊が刊行されました。

この資料では、彩色された150の図版が紹介されています。

当館所蔵本は、全一冊に合冊製本されており、ホームページのデータライブラリーで画像を公開しています。

1 沿革

大正 4年10月 (1915年)	大正天皇御即位記念事業として、福岡県立図書館を設立することが臨時県会において可決、3か年継続事業として総経費132,240円
大正 4年12月 (1915年)	福岡県立図書館規則を制定し、図書館を福岡県庁内に設置
大正 7年 3月 (1918年)	同館落成、5月1日から一般の無料閲覧を開始 場所は現在の天神2丁目、本館は木造2階建て延べ492坪、書庫は煉瓦造り3階建て延べ120坪、蔵書は和洋書54,000冊 この建物は昭和20年6月19日戦災により焼失
昭和20年 6月30日	仮事務所を中学修猷館内に置き復興事務を開始
昭和23年 8月	県議会において本館の復興を可決し、総経費530万円をもって工事に着手し、昭和24年7月1日落成、7月4日から閲覧を開始、場所は博多区東公園内で、本館は木造平屋建て141坪、書庫は2階建て35坪
昭和35年 9月10日	県と市の間で、須崎公園の一角に文化センターを建設する話合いが進められ、知事と市長が覚書を取り交わし、市が公会堂を県は図書館を建設することを決定
昭和38年 2月	県は図書館に美術館を併置した文化会館を建設することとし、工費34,056万円をもって2月15日着工、翌39年8月15日落成
昭和39年11月 3日	文化会館が中央区天神5丁目を開館、鉄筋コンクリート4階建て、書庫地下1階、地上7階延べ7,205㎡
昭和54年12月	文化会館が図書資料の増大等により手狭になったため、新しく県立図書館を建設するための基本設計費が12月県議会において議決
昭和56年 4月21日	図書館新築工事着工（施設の概要は別記）
昭和57年12月	12月県議会において、「福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例」を一部改正し、図書館を設置
昭和57年12月27日	新館竣工
昭和58年 2月25日	落成式挙行
昭和58年 4月 1日	開館、一般閲覧開始
昭和59年11月 4日	日曜開館実施
平成 5年10月 1日	県議員会館が図書館に所管換される
平成 6年 9月	図書館別館改築工事着手（県議員会館の転用）
平成 7年 3月31日	別館竣工
平成 7年 4月 7日	別館開館、一般供用開始
平成 7年 6月 2日	別館落成式
平成 7年11月10日	本館地下書架増設に伴う改築工事着手

平成 8年	3月15日	同上竣工
平成 8年	3月22日	電算による業務開始
平成10年	5月15日	インターネットによる図書情報提供開始(福岡県立図書館所蔵図書情報33万件) 「ふくおか生涯学習ネットワーク」 (アドレス http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/)
平成11年	4月 1日	福岡県立図書館組織規則改正 インターネットによる図書情報提供に北九州市、福岡市加わる (福岡県立図書館、北九州市立中央図書館、福岡市総合図書館 3館の和図書情報 計130万件)
平成12年	3月	図書館協力車として車1台の寄贈を受け、更新 (平成16年度以降資料配送業務を外部委託)
平成13年	10月	別館子ども図書館増改築工事着手
平成14年	2月22日	同上竣工
平成14年	4月23日	子ども図書館開館記念式典
平成15年	8月	ビジネス支援情報コーナー設置
平成16年	2月	新・福岡県図書館情報提供システム稼働開始 (アドレス変更 http://www.lib.pref.fukuoka.jp/) 福岡県内公共図書館等ネットワーク加入館の拡大 (H27.3現在56館)
平成17年	1月	平成16年度図書館地区別研修(九州・沖縄地区)
平成17年	4月	休日開館実施
平成17年	11月	「学校支援サービス」の拡充(学校貸出図書セット運用開始)
平成19年	7月24日	青少年と暮らしの交流室設置
平成21年	2月	福岡県図書館情報提供システム更新
平成22年	3月	在架予約サービス開始
平成22年	10月	遠隔地貸出・返却サービス本格実施
平成24年	10月	福岡市立図書館との相互返却を開始
平成25年	6月	福岡県公共図書館等協議会において、全県的に 「学校支援サービス」本格実施
平成25年	11月	第99回全国図書館大会福岡大会開催
平成26年	2月	福岡県図書館情報提供システム更新
平成27年	2月	平成26年度図書館地区別研修(九州・沖縄地区)

2 運営方針

(1) 基本方針

① 資料収集保存センターとしての機能

県民及び市町村立図書館等の要望に十分こたえるため、基本的図書館資料や新刊図書、視聴覚資料、外国資料等を収集・整理・保存して活用を図る。

② 資料情報センターとしての機能

県民のニーズ及び社会の要請をふまえ、市町村立図書館等と連携して、収集・整理した広範な資料や情報を、県民並びに市町村立図書館及び大学図書館等に対して、迅速かつ適切に紹介、提供する。

③ 郷土資料センターとしての機能

過去から現在までの福岡県の事項について書かれた資料や福岡県内で発行された資料（図書・雑誌・新聞・行政資料・古記録類・視聴覚資料など）を収集・整理し、その保存及び活用を促進する。

④ 市町村立図書館活動の援助センターとしての機能

市町村立図書館等からの相談に応じたり、職員研修等の実施により資質の向上を図り、市町村立図書館の設置促進や運営の助言を行い、あわせて福岡県公共図書館等協議会の活動を推進し、県内図書館活動の振興に寄与する。

⑤ 子ども読書活動推進拠点としての機能

子ども読書活動推進のモデル的実践の場として福岡県立図書館子ども図書館及び「青少年と暮らしの交流室」の機能を高め、市町村立図書館や子ども読書に係わるボランティアグループ等へ支援を行うとともに、学校等との連携を行い、積極的な子どもの読書活動の推進に努める。

(2) 平成27年度重点目標

① 資料収集保存センターとしての機能の充実のために

- 高度化・多様化する県民の学習要求に応じた資料の収集に努める。併せて、新しい情報通信技術を活用した資料・情報の収集等にも努める。引き続き、行政支援、ビジネス支援、医療・福祉情報支援、教育支援、子育て支援資料等を重点的に収集するとともに、青少年資料を含む子ども読書活動推進に関する資料・情報の充実に努める。
- 日々の暮らしに直結した、身近な資料も充実させる。
- 利用の多い英語・中国語・ハングルを中心に外国語資料の充実を図る。
- 収集資料の活用状況等を把握するなど、収集の効果等について調査研究を行い、蔵書のより一層の充実を図る。
- 平成26年2月1日に更新を行った図書館システムについて、改善の余地がある機能を検証し、サービスの充実・向上を図る。

② 資料情報センターとしての機能の充実のために

- 高度情報社会における図書館サービスとして、紙媒体と電子媒体を有機的に組み合わせた情報提供に努める。特に、行政支援、ビジネス支援、その他課題解決のための情報提供の充実を図る。
- 福岡県図書館情報提供システムを駆使した迅速な資料・情報提供を行い、レファレンスサービスの充実・強化に努め、利用拡大を図る。
- 利用者ニーズの把握とともに、地域との積極的な連携に努め、日々の暮らしに直結した、身近な資料を求める利用者の希望にも対応できる資料等の提供に努める。
- 視覚による読書に困難のある人へのサービスの拡充を図り、録音図書室運営の充実に努める。
- 大学図書館や類縁機関等との連携を図り、県民に対してより広い資料及び情報の提供に努める。

③ 郷土資料センターとしての機能の充実のために

- 県民の多様なニーズに対応できるよう、福岡県に関する出版物及び県内出版資料の収集を行う。
- 収蔵資料を整理保存し、活用を図る。
- ホームページ等を利用した福岡県関係資料・情報の提供に努める。
- 郷土に関するレファレンスサービスの充実・強化に努め、利用拡大を図る。

④ 市町村立図書館活動の援助センターとしての機能の充実のために

- 市町村立図書館の設置促進や、経営相談に積極的に応ずるとともに、図書館運営等に関する情報の提供を行う。
- 市町村立図書館職員及び県立図書館職員に対する研修の充実を図り、職員の資質の向上を図る。
- 相互貸借を活性化させるための環境を整備する。
- 図書館未設置町村の読書活動の推進について支援を行う。
- 市町村の公共図書館と学校との連携を推進する。
- 福岡県公共図書館等協議会との協働体制を確立するとともに、福岡県図書館協会の充実を図る。
- 県立図書館ボランティアとの協働を推進する。

⑤ 子ども読書活動推進拠点としての機能の充実のために

- 公開図書を推奨図書として整備するために、基本図書の充実を図る。
- 子ども達が本に親しむための取組や技術の充実を図り、先導的・実験的な役割を強化し、子どもの読書活動推進に反映させる。
- 子どもの読書に関するレファレンスサービスの充実に努める。
- 青少年サービスの在り方を研究し、実践する。
- 市町村図書館等の子どもの読書活動推進支援に積極的に取り組む。
- 子どもの読書ボランティアの育成や活動支援に積極的に取り組む。
- 学校との連携を深め、学校での子どもの読書活動の推進を積極的に支援する。

3 組 織

平成27年4月1日現在

総務課(職員4名、事務嘱託1名)

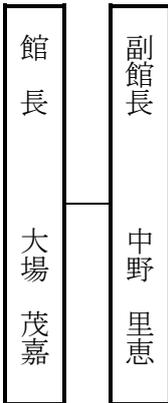
職名	氏名	事務分掌
課長 副長 (本参事補佐) 主任主事 主任主事	山下 真一 長野 良博 生清 万知子 國政 多可恵	・図書館施設・設備の管理 ・人事事務 ・会計事務 ・図書館協議会

資料課(職員9名、事務嘱託4名)

職名	氏名	事務分掌
課長 (本参事) 図書係 係長 事務主査 事務主査 事務主査 事務主査 事務主査 逐次刊行物係 係長 (本参事補佐) 事務主査 事務主査	松井 恵美子 本田 文子 青木 三保 綾香 博充 筒井 一成 永井 政義 滝口 由美子 成清 裕一 今坂 真由美	・資料、逐次刊行物、行政資料の収集整理 ・録音図書の整理 ・図書館情報システムの管理 ・図書館実習

参考調査課(職員8名、事務嘱託10名)

職名	氏名	事務分掌
課長 調査相談係 係長 事務主査 事務主査 主任主事 利用サービス係 係長 事務主査 主任主事	瀬尾 直美 杵平 洋子 篠原 真由美 森 弘成 井口 景子 福澤 啓一 長野 馨 早川 園美	・図書館資料の貸借管理 ・録音図書の貸借 ・レファレンス(子ども図書館、郷土資料関係を除く。) ・各種支援サービス ・青少年と暮らしの交流室



企画協力課(職員7名、事務嘱託2名)

職名	氏名	事務分掌
課長 企画係 係長 事務主査 主任主事 普及係 係長 主任主事 主任主事	杉村 隆毅 八尋 清光 藤野 秀雄 上田 奈美子 森部 恵子 吹上 恵美 大谷 早織	・公立図書館との連携、相互協力 ・館外貸借 ・子ども図書の収集・整理並びに利用及びレファレンス ・読書普及

郷土資料課(職員3名、事務嘱託3名)

職名	氏名	事務分掌
課長 副長 (本参事補佐) 事務主査	松永 茂 森 佳江 高橋 依子	・郷土資料の収集・整理並びに利用及びレファレンス ・貴重資料・委託資料の整理、保管

4 福岡県立図書館協議会委員

選出区分	氏名	役職名 (就任時)	委員任期	摘要
学校教育関係者	永井 勝子	古賀市立青柳小学校長	H25. 9. 8～H27. 9. 7	
〃	山崎 悦郎	福岡県立福岡高等視 覚特別支援学校長	H25. 9. 8～H27. 9. 7	
社会教育関係者	松尾 有子	読書ボランティア	H25. 9. 8～H27. 9. 7	
〃	永利 和則	小郡市立図書館長	H25. 9. 8～H27. 9. 7	
家庭教育の向上に資 する活動を行う者	大關 郁	福岡県PTA連合会 監事	H25. 9. 8～H27. 9. 7	
学識経験者	八尋 和郎	九州経済調査協会 事業開発部長	H25. 9. 8～H27. 9. 7	
〃	◎葉袋 秀樹	筑波大学名誉教授	H25. 9. 8～H27. 9. 7	
〃	石田 栄美	九州大学附属図書館 研究開発室准教授	H25. 9. 8～H27. 9. 7	
〃	長谷川 澄男	福岡県書店商業組合 理事長	H25. 9. 8～H27. 9. 7	
〃	津田 公治	福岡県議会議員 (文教委員長)	H25. 9. 8～H27. 9. 7	

※ ◎印は会長

平成27年7月1日現在
10名 任期2年

5 予 算 (平成27年度)

事 項 名	金 額
運 営 費	126,841 千円
図書資料購入費	77,459 千円
読書推進活動及び図書館普及費	340 千円
図書資料整備費及び録音図書運営費	1,076 千円
図書館業務委託事業費	21,482 千円
合 計	227,198 千円

6 施設の概要（施設平面図巻末参照）

本 館

構 造 鉄筋コンクリート造（地下1階・地上5階建）
 敷地面積 3,329㎡ 建築面積 1,747㎡
 延床面積 7,945㎡ 総工費 2,484,715千円

別 館

構 造 鉄筋コンクリート造（地上5階建）
 敷地面積 1,653㎡ 建築面積 809㎡
 延床面積 3,269㎡ 総工費 459,329千円
 （うち子ども図書館増築分 150㎡ 64,960千円）

7 利用案内

（1）開館時間

本 館	第1閲覧室 (1F)	午前9時～午後7時（日曜日は午後5時まで）
	青少年と暮らしの交流室 (1F)	
	第2閲覧室、新聞室 (2F)	
	郷土資料室 (3F)	
別 館	子ども図書館 (1F)	午前9時～午後5時
	学習室 (3F)	午前9時～午後7時（日曜日は午後5時まで）
	録音図書室 (5F) ボランティアルーム	午前9時～午後5時 （一般の方の利用はできません）

（2）休 館 日 （平成27年度）

毎週月曜日
 図書整理日 （毎月末日。ただし、土・日曜日に当たるときは開館）
 特別整理期間 （平成28年3月1日から3月10日）
 創立記念日 （4月1日）
 年末年始 （12月28日から1月4日）

(3) サービス内容

① 個人貸出

図書資料は貴重書・参考資料・その他規則により制限されているものを除き、貸し出しています。

貸出は利用者の住所・氏名が確認できるもの（運転免許証・健康保険証・学生証など）の提示により登録を行い、利用者カード（発行日から3年間有効）を発行してその日から行っています。

貸出は同時に10点まで、貸出期間は15日間（貸出日を含む。）です。

② 予約サービス

電話や当館ホームページで在架資料の取置予約もできます。

③ 遠隔地貸出・返却サービス

当館が所蔵している資料について、利用者本人によるインターネットでの予約申込みにより、県内最寄りの図書館等で受取・返却ができます。

④ 相互貸借による資料提供サービス

当館が所蔵していない資料については、利用者の求めにより他の図書館（県内外の公共図書館・国立国会図書館等）から借り受けて利用に供しています。

⑤ インターネットによるサービス

インターネット上のホームページから、蔵書検索、新着資料一覧が見られるほか、パーソナルサービスとして利用者本人の貸出・予約情報の照会もできます。

資料情報の提供サービスとしては県内公共図書館所蔵情報を横断検索できるシステムを構築し、平成27年6月現在、参加51館（県立図書館含む図書館（室）・専門図書館等）の図書資料情報が県立図書館ホームページから一括検索が可能です。

⑥ 複写サービス

所蔵資料の電子複写及びマイクロフィルムからの引き伸ばしを、著作権法の範囲内で有料で応じています。

⑦ レファレンスサービス

日常生活の中などで起こる疑問や各種の調査・研究について、資料提供など相談に応じています。

電話、FAX、文書、Eメールでの相談も受け付けています。

⑧ ビジネス支援サービス

起業、就職、資格取得等の情報提供、支援を行っています。

新聞記事、判例その他ビジネス情報のデータベースが利用できるほか、インターネット情報検索用パソコンも設置しています。

また、起業・経営相談会、法律セミナーを公益団体と共催しています。

⑨ 学校支援サービス

学校における読書活動の推進や教育活動の支援のため、学校貸出セットの提供、図書館活用リーフレットの作成を行っています。

⑩ ユニバーサルサービス

視覚による読書に困難のある人（視覚障害だけではなく失読症等の学習障害などがある方も対象）へのサービスのため録音図書の提供を行っています。

録音図書製作ボランティア「福岡県立図書館音訳の会」に委嘱して録音図書を製作しています。

また、拡大読書器を設置するとともに、大活字本の購入を進めています。

8 統計資料

(1) 所蔵資料

① 図書資料

(単位：冊)

	24年度末現在	25年度末現在	26年度末現在
一般	650,547	669,010	687,342
郷土	42,298	42,817	44,035
子ども	86,190	88,895	91,197
小計	779,035	800,722	822,574
貸出文庫	0	0	0
学校貸出セット	5,406	5,826	8,141
計	784,441	806,548	830,715

② 逐次刊行物

(単位：タイトル)

		24年度末現在	25年度末現在	26年度末現在
雑誌	一般	10,628	10,542	10,009
	郷土	7,010	7,112	7,279
	子ども	165	166	169
	計	17,803	17,820	17,457
新聞	一般	243	245	256
	郷土	260	254	259
	子ども	5	4	4
	計	508	503	519
法令集		20	20	20
規格資料等		4	4	4
合計		18,335	18,347	18,000

③ その他資料

			24年度末現在	25年度末現在	26年度末現在
マイクロ資料	ロール	一般室	1,819 リール	1,853 リール	1,877 リール
		郷土室	5,778 リール	5,819 リール	5,507 リール
		計	7,597 リール	7,672 リール	7,384 リール
	フィッシュ	11,141 枚	11,141 枚	11,141 枚	
レコード			1,227 枚	1,227 枚	1,227 枚
ビデオ、CD-ROM等			1,948 点	1,982 点	2,031 点
視力障害者用録音資料			17,068 巻(枚)	17,246 巻(枚)	17,457 巻(枚)
AVルーム資料	C D	524 タイトル	524 タイトル	524 タイトル	
	L D	350 タイトル	350 タイトル	350 タイトル	
	ビデオ	24 タイトル	24 タイトル	24 タイトル	
布の絵本			142 冊	161 冊	122 冊

④ 特別コレクション

i 主な所蔵資料

福岡県史編さん資料	795 点
黒田家文書（藩政資料）	470 点
大田資料（藩政資料）	554 点
諸岡家文書（怡土郡大庄屋記録）	305 点
明石家文書（箱崎浦大庄屋記録）	375 点
河内卯兵衛資料（同氏遺品）	約 6,000 点
小原菁々子俳諧文庫（俳句関係資料ほか）	約 1,000 点
波多江文庫（現代蒐書）	約 30,000 冊
エスペラント資料（伊藤徳之助氏遺品）	約 400 冊
萩尾映画資料（スチール及びプレス類）	約 20,000 点
映画資料（当館収集映画資料、ポスター、スチール及びプレス類）	邦画 4,650 タイトル 洋画 9,644 タイトル
四部叢刊（中国の善本覆刻集成）（全刊揃）	2,100 冊
西日本童話博記念文庫	約 1,300 冊
福岡日日新聞（明治24年～昭和17年）、西日本新聞（昭和17年以降） 糸島新聞、両筑新報、朝倉新聞	
その他の貴重資料 筑前国産物帳、益軒書簡、シーボルト「日本」「日本植物誌」「日本動物誌」ほか 福岡県関係近世古地図 「筑前秋月藩館下之図」、「筑前国十五郡三図（正保筑前国絵図）」 「柳河郭内之図」ほか多数	

ii 主な寄託資料

竹田文庫（藩儒記録）	約 4,000 点
衣笠文庫（郷土資料）	1,864 冊
杉山文庫（杉山茂丸氏・泰道氏・龍丸氏蔵書）（寄贈を含む）	約 1,000 点
夢野久作資料（小説家遺品）	約 100 点
禅寺洞文庫（吉岡禅寺洞氏遺品）	774 冊
安部資料（安部幸六氏鳥類研究資料）	約 400 冊
方城町収集古文書（町文化財）	約 1,000 点
大賀(礼)家文書（大賀礼太郎氏・庄屋文書・酒造に関する文書）	約 20,000 点
福岡県農業総合試験場寄託資料	178 点
武谷文庫（武谷元立、祐之関係書簡ほか）	約 880 点
谷口資料（谷口良忠氏作成・収集鉄道関係資料）（寄贈を含む）	図書等 1,200 点 雑誌 43 タイトル

⑤ 古文書等複製化状況（平成26年度）

i マイクロフィルム撮影

（単位：巻）

No.	資料名	マイクロリール数
1	高田文書	16
2	郷土図書（筑後銘鑑ほか）	24
3	郷土行政資料（福岡県会決議録）	20
計		60

ii デジタル化

No.	資料名	資料点数
1	大田資料ほか	15
2	筑前国続風土記附録 絵図	1
計		16

(2) 所蔵資料受入状況

① 図書資料

(単位：冊)

		25年度末現在	26年度増	26年度末現在
総記		62,155	975	63,130
哲学		34,746	1,010	35,756
歴史		75,517	2,043	77,560
社会科学		148,347	4,869	153,216
自然科学		54,574	1,828	56,402
技術		51,316	1,764	53,080
産業		34,217	1,099	35,316
芸術		57,626	1,800	59,426
言語		12,576	341	12,917
文学		194,569	4,568	199,137
布の絵本		116	6	122
紙芝居		1,465	82	1,547
行政		30,681	249	30,930
郷土		42,817	1,218	44,035
計		800,722	21,852	822,574
行政資料 (再掲)	福岡県	6,359	△ 5	6,534
	福岡県市町村	4,109	80	4,189
	国	16,626	172	16,798
	都道府県	3,407	2	3,409

※ 学校貸出セットを除く。

② 逐次刊行物

		25年度末現在 タイトル数	26年度増 タイトル数	26年度末現在 タイトル数
雑 誌	総記 (G)	929	8	937
	人文 (C)	584	6	590
	社会 (S)	2,129	△ 457	1,672
	科学・技術 (T)	2,046	14	2,060
	文芸 (L)	1,229	△ 104	1,125
	郷土 (K)	4,356	138	4,494
	子ども (J)	166	3	169
行政資料	福岡県及び 県内市町村	2,756	29	2,785
	国及び都道府県	3,625	0	3,625
	計	17,820	△ 363	17,457
新 聞	一般	245	11	256
	郷土	254	5	259
	子ども	4	0	4
	計	503	16	519
法令集		20	0	20
規格資料等		4	0	4
合計		18,347	△ 347	18,000

(3) 利用状況

① 入館者数

	24年度	25年度	26年度
入館者数	551,992(1,890)	571,456(1,971)	491,212(1,676)
年間開館日数(日)	292	290	293

※()は1日平均

② ホームページ・アクセス数

	24年度	25年度	26年度
トップページアクセス数	438,023	460,848	470,756

③ 図書資料貸出状況

		24年度	25年度	26年度
登録者数 (人)	一般	96,123	99,689	104,327
	子ども	9,181	4,827	4,862
	計	105,304	104,516	109,189
利用件数 (人) (相互貸借を含む)	一般	97,779	105,680	153,195
	子ども	21,313	20,063	14,670
	計	119,092	125,743	167,865
貸出冊数 (冊) (相互貸借を含む)	一般	342,632	351,483	367,289
	子ども	99,267	96,592	98,116
	計	441,899	448,075	465,405

録音図書

		24年度	25年度	26年度
個人	登録者数(人)	495	289	293
	利用冊数(冊)	1,480	1,451	1,403
	利用巻数(巻)	3,104	2,599	1,883
団体	利用団体数	37	39	61
	利用冊数(冊)	190	151	281
	利用巻数(巻)	390	385	374

遠隔地貸出・返却サービス利用件数

	24年度	25年度	26年度
受取利用(冊)	6,879	7,600	6,955
返却利用(冊)	3,983	4,118	4,155
計	10,862	11,718	11,110
協力館(館)	52	52	53

※協力館数は、年度末の数値。

相互貸借

	24年度	25年度	26年度
貸出(冊)	16,607(うち県外1,231)	15,134(うち県外1,094)	17,365(うち県外1,209)
借受(冊)	4,059(うち県外734)	3,693(うち県外493)	4,366(うち県外510)

※ただし「県外」は公共図書館のみ

学校貸出セット

	24年度	25年度	26年度
貸出(セット)	196	190	208

④ 資料の特別利用

	24年度	25年度	26年度
1 資料の復刻・翻刻	1件	3件	3件
2 資料掲載	37件	75件	47件
3 資料の放映	12件	18件	35件
4 その他（展示等）	21件	23件	24件
計	71件	119件	109件

⑤ 複写利用状況

		24年度	25年度	26年度
件 数	第2閲覧室	6,041	5,920	5,217
	郷土資料室	3,924	3,836	3,936
	計	9,965	9,756	9,153
枚 数	第2閲覧室	104,785	112,480	89,496
	郷土資料室	76,017	73,176	75,815
	計	180,802	185,656	165,311

※ カラーコピーは1枚30円、モノクロ、マイクロコピーは1枚10円

⑥ 「特別複写・自写申請書」による撮影枚数

	24年度	25年度	26年度
枚 数	19,821枚	8,232枚	8,739枚

⑦ 「おはなし」の時間

日 時	対 象	内 容		
毎週水曜日 11時	0・1・2歳	絵本の読み聞かせ		
〃 16時	3～5歳	ストーリーテリング		
毎週土曜日 14時	小学生	紙しばい ほか		
		24年度	25年度	26年度
実施回数		146回	145回	143回
参加延人数		2,661人 (うち子ども 1,529人)	2,890人 (うち子ども 1,669人)	2,176人 (うち子ども 1,092人)

⑧ 子ども情報ルーム 学習目的利用者（内パソコン利用者）

	24年度	25年度	26年度
利用者数(人)	346(120)	335(59)	421(157)

⑨ 子ども読書普及活動講師派遣状況

	24年度	25年度	26年度
講師派遣件数(回数)	15件(21回)	15件(24回)	13件(18回)

⑩ レファレンス件数

		24年度	25年度	26年度
面 談	一 般	24,030	33,591	40,537
	郷土資料室	3,754	3,443	3,436
	子ども室	2,862	3,999	4,006
	計	30,646	41,033	47,979
電 話	一 般	10,091	10,750	11,924
	郷土資料室	1,125	1,058	1,257
	子ども室	280	641	83
	計	11,496	12,449	13,264
文 書	一 般	266	178	646
	郷土資料室	203	152	59
	子ども室	1	0	0
	計	470	330	705
F A X	一 般	277	234	167
	郷土資料室	104	190	248
	子ども室	0	1	0
	計	381	425	415
Eメール	一 般	869	597	943
	郷土資料室	276	449	330
	子ども室	8	5	0
	計	1,153	1,051	1,273
ウオンテット [△] (所在調査用掲示板)	一 般	224	178	194
	郷土資料室	0	0	0
	子ども室	0	0	0
	計	224	178	194
合 計	一 般	35,757	45,528	54,411
	郷土資料室	5,462	5,292	5,330
	子ども室	3,151	4,646	4,089
	計	44,370	55,466	63,830

⑪ 書庫出納

	24年度	25年度	26年度
総記	1,954	3,894	3,106
哲学・宗教	3,737	3,062	2,703
歴史・地理	5,394	5,601	5,032
社会科学	6,287	6,218	5,820
自然科学	2,497	2,206	1,801
工学	2,478	2,165	1,878
産業	1,830	1,930	1,459
芸術	3,246	3,223	2,747
言語	836	764	556
文学	10,103	9,045	8,782
雑誌	8,879	11,936	15,571
子ども	18,040	20,094	15,790
郷土	8,862	10,076	9,841
その他※	3,246	3,549	3,910
合計	77,389	83,763	78,996

※「その他」には、新聞・AV資料・行政資料等を含む。

⑫ 県内公共図書館設置状況

	24年度末	25年度末	26年度末
市立	28(28)	28(28)	28(28)
町立	23(30)	23(30)	24(30)
村立	0(2)	0(2)	0(2)
合計	51(60)	51(60)	52(60)

()内は市町村数を表示している。

⑬ 録音図書室

○ 沿革

- 昭和40年 4月 盲人用録音物等発受施設の申請を郵政省へ提出 11月認可
- 11月 録音図書吹込開始(朗読ボランティア7名)
- 昭和42年 4月 福岡県文化会館 盲人用テープライブラリー発足
蔵書 25冊(68巻) 利用登録者 22名
- 昭和48年 4月 オープンリールからカセットに切り替える
- 昭和50年 録音図書制作ボランティアとして「福岡県朗読奉仕者の会」 創立
- 昭和53年 2月 逐次刊行物「暮らしの手帖」録音版発刊
- 昭和53年 2月 朗読奉仕者の会会報「かけはし」創刊
- 10月 日本点字図書館団体登録が承認される
- 12月 国立国会図書館学術文献録音サービス受付機関となる
- 昭和56年 9月 福岡県朗読奉仕者の会が福岡市社会福祉協議会より表彰を受ける
- 昭和58年 4月 福岡県立図書館録音図書室としてスタート
- 昭和63年 4月 福岡県朗読奉仕者の会が「第24回社会を明るくするフクニチ新聞社賞」を受賞する
- 平成 2年 6月 福岡県朗読奉仕者の会が厚生大臣表彰を受ける
- 平成 6年10月 福岡県朗読奉仕者の会が福岡県教育文化功労者として表彰を受ける
- 平成 8年10月 録音図書校正ボランティア養成講座開催
(平成8年度生涯学習ボランティア活動総合推進事業)
- 平成11年 4月 福岡県立図書館所蔵録音図書情報インターネットで提供開始
- 平成16年 5月 福岡県朗読奉仕者の会が「緑綬褒章」を受章
- 平成19年12月 デイジー図書(デジタル音声情報システムによる録音図書)の貸出開始
- 平成22年 4月 福岡県朗読奉仕者の会が会の名称を「福岡県立図書館音訳の会」に変更する
- 平成24年 4月 サピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)図書館に加入
- 平成25年 9月 福岡県立図書館音訳の会が朗読録音奉仕グループ奨励賞(財団法人鉄道弘済会ほか主催)を受賞

(平成27年4月現在 音訳ボランティア49名)

○所蔵冊数 4,132冊(17,457巻)

9 平成26年度事業

(1) 研修・講座等

事業名		開催月日	内 容	参加者等
読書週間関連事業	小学生 4～6年生	4月26日(土)	① 子ども図書館でのカウンター体験 ② お話の時間のお手伝いなど	小学校 4～6年生 7名
	一般 (中学生以上)	11月3日(日)	① 図書館についての概要説明 ② 館内 見学 ③ カウンター業務体験 ④ 書架 整理・展示物製作	県民一般 2名
	おうちの人のための 絵本講座&おはなし会	11月7日(金)	① 絵本と読み聞かせの話 県立図書館職員 ② 「読み聞かせチームQ」によるおはなし会 TVQアナウンス部	県民一般 31名 (大人17、 子ども14)
	読書推進大会 (大木町大会)	12月7日(日)	優良読書グループ表彰・活動報告・講演会 講演 「作家になるまで」 直木賞作家 安部 龍太郎 氏	県民一般 250名
	読書講演会	未実施	講演者都合により中止	
その他事業	夏休み子ども図書館体験	7月23日(水) 7月24日(木)	① 子ども図書館でのカウンター体験 ② 調べ方の研究 ③ おはなし会のお手伝い ④ 本の修理	小学校 4～6年生 13名
図書館講座	創業セミナー (社)福岡県中小企業診断協会共催事業	5月17日(土)	「創業を成功させる事業計画」 中小企業診断士 中田 真二 氏	県民一般 36名
		10月4日(土)	「創業時の資金調達のポイント」 日本政策金融公庫	17名
		2月7日(土)	福岡創業支援センター所長 有田哲二氏	
		「創業手続きと経営知識」 中小企業診断士 柴垣直紀氏	22名	
仕事と暮らしに役立つ法律セミナー 福岡県青年司法書士協議会共催事業	6月14日(土)	「なるほどTHE相続・遺言」	29名	
	10月18日(土)	「不動産売買のチェックポイント」	13名	
	12月13日(土)	「成年後見制度」	12名	
	2月14日(土)	「これが賃貸借トラブルだ対処法だ!」	18名	

公共図書館等職員研修会	基本研修	初任者研修会	5月26日(月) 5月27日(火)	対象：図書館業務初任者 内容：図書館活動概論、図書館概論、 図書館サービス、待遇、実習 講師：(待遇) マーインストラクター 西藤 孝子 氏 (その他) 県立図書館職員	公共図書館・ 公民館職員等 69名
		中堅職員研修 ※文部科学省主催 「平成26年度図書館地区別研修(九州・沖縄)と兼ねる	2月3日(火) ～2月6日(金)	対象：図書館業務経験3年以上 内容：行政説明「図書館行政の動向について」 講師 文部科学省生涯学習政策局 社会教育課長 谷合 俊一 氏 基調講演「地方出版を考える」 講師 亡羊社代表 藤村 興晴 氏 講義1「公立図書館と学校との連携」 講師 小郡市立図書館長 永利 和則 氏 事例発表①「学校図書館の環境づくり ～情報ファイルの作成～」 講師 神奈川県大和市教育委員会教育部指導室 学校図書館スーパーバイザー 藤田 利江 氏 事例発表②「豊中市における 市立図書館と学校図書館との連携」 講師 大阪府豊中市教育委員会読書振興課 岡町図書館 司書 上杉 朋子 氏 事例発表③「星ふるまの 図書館教育について」 講師 山口県下松市立図書館長 長弘 純子 氏 講義2「利用者参加型のイベント ～ビブリオバトル～を中心に」 講師 ビブリオバトル普及委員会九州地区副代表 赤峰 稔明 氏 実践報告「春日市民図書館(ビブリオバトル) 実践報告」 講師 春日市民図書館 司書 伊東 達也 氏 ワークショップ「ビブリオバトルを体験」 講義3「蔵書のない図書館が人を発酵させ、 まちを創る！～まちライブラリーの試み～」 講師 まちライブラリー提唱者、森記念財団 普及啓発部長 磯井 純充 氏	公共図書館・ 公民館職員等 148名 (うち福岡県 107名)
		資料整理保存研修会	9月29日(月)	対象：県内公共図書館・図書室等職員 内容：修理の基礎に関する講義・実習 講師：長崎市立図書館 浦川 康子氏	公共図書館・ 公民館職員等 24名
		郷土資料研修	10月20日(月)	対象：図書館勤務3年以上の職員 内容：郷土資料に関する講義、演習等	公共図書館・ 公民館職員等 23名
		レファレンス研修	11月17日(月) 12月1日(月)	対象：図書館勤務延べ1年以上5年未満の職員 内容：ハイブリッド情報検索、レファレンス課題調査、 法令等の調べ方、統計資料の探し方、国立公文書館ア ジア歴史資料センター紹介	28名 (23館)

子どもと読書研究会	児童図書館入門講座 (全4回)	6月2日(月) 6月9日(月) 6月23日(月) 7月7日(月)	対象：児童サービス経験2年未満 内容：読み聞かせ、ストーリーテリングについての 講義及び実習	公共図書館・ 公民館職員等 41名 (延べ164名)
	専門講座(ブックト ーク講座)(全3回) ※子ども読書推進事 業「ボランティアス キルアップ講座講座 」と合同開催	7月31日(木) 9月8日(月) 9月22日(月)	対象：選択実習①ブックトーク経験3年以上 選択実習②ブックトーク経験3年未満 内容：講義「ブックトークを楽しもう」 講師 神戸市外国語大学非常勤講師 中西 美季 氏 選択実習① 講師 神戸市外国語大学非常勤講師 中西 美季 氏 選択実習② 講師 福岡県立図書館 ブックトークボランティア 「本の楽しさおとどけ便」会員	公共図書館・ 公民館職員・ ボランティア 等 講義のみ 68名 実習①15名 実習②40名 (延べ123名)
子ども読書推進事業	「福岡子どもの読書 ボランティアの集い 」	11月10日(月)	講演：「子どもと本をつなぐひと」 親子読書地域文庫全国連絡会代表 広瀬 恒子氏 実践発表：小学校に読み聞かせを広める会 「マザーグース」	図書館職員・ 教職員・社会 教育関係職員 ・ボランティ ア等 79名
	青少年読書推進事業 「青少年読書推進講 座」	8月25日(月)	講演：「ビブリオバトル ～読書と表現の多様な楽しみ方～」 立命館大学情報理工学部准教授 谷口忠大 氏 (実演・講評・質疑応答あり)	図書館職員・ 教職員・社会 教育関係職員 ・ボランティ ア等 63名
	ブックトーク講座 (全3回) ※「子どもと読書」 研究会専門講座と合 同開催	7月31日(木) 9月8日(月) 9月22日(月)	対象：選択実習①ブックトーク経験3年以上 選択実習②ブックトーク経験3年未満 内容：講義「ブックトークを楽しもう」 講師：神戸市外国語大学非常勤講師 中西 美季 氏 選択実習① 講師 神戸市外国語大学非常勤講師 中西 美季 氏 選択実習② 講師 福岡県立図書館ブックトークボランティア 「本の楽しさおとどけ便」会員	公共図書館・ 公民館職員・ ボランティア 等 講義のみ 68名 実習①15名 実習②40名 (延べ123名)
録音図書製作(音声訳・校 正)ボランティア養成講座	9月3日～10月 22日の毎週水 曜日(全8回)	録音図書製作のための技術研修	県民一般 30名	
音訳等ボランティア研修会	12月17日(水)	講演「障害者サービスの理念と著作権法や障害者の 権利条約をふまえた展望」 「障害者に使いやすい録音資料 音訳者に求められる技術とは」 講師 埼玉県立久喜図書館 佐藤 聖一 氏	音訳等 ボランティア 59名	

(2) 大会等

事業名	開催月日	内 容	参加者等
第48回 福岡県地方史研究 協議大会	6月28日(土)	テーマ：福岡県の近世城郭3 豊前の部 講演 「城郭研究からみる小倉城」 北九州史自然史・歴史博物館 中西 義昌 氏 「中津城 - 黒田官兵衛時代の姿はどこまで追えるのか -」 九州大学大学院人間環境学研究院 教授 木島 孝之 氏	地方史に関心 のある県民 109名
福岡県地方史研究 連絡協議会 地区研究集会	11月9日(日)	筑前地区 福岡県立図書館(福岡市) 研究発表 「筑豊の炭鉱・石炭王 伊藤伝右衛門」 「燐子と白蓮 多くの誤解を生んだ『筑紫の女王』」	
	11月8日(土)	筑後地区 古代体験館おごおり(小郡市) 研究発表 「よみがえる薩摩街道 松崎宿・油屋の歴史」 現地見学	
	11月8日(土)	豊前地区 田川市民会館(田川市) 研究発表 「豊前松山城をめぐる戦国武将達」 「筑豊産炭地における友子」	

(3) 郷土資料調査

	期 間	資 料 名
第1回	平成26年7月30日、8月18日	「高田文書」
第2回	平成27年1月～3月のうち延べ33日間	「竹田文庫」

(4) 企画展示

期 間	展 示 内 容	場 所
7月 8日～ 8月31日	「終戦から70年 あの日々を忘れないために」	本館1階展示コーナー
10月 7日～11月30日	「近代化産業100年の遺産 後世に語り継がれる近代日本の礎」	
6月 3日～ 6月29日	映画資料展示 第1回「スポーツ映画」	本館1階エントランスホール
9月 2日～ 9月28日	第2回「シェークスピア生誕450年」	
12月16日～ 2月 1日	第3回「追悼 高倉健さん」	本館1階展示コーナー
郷土資料ミニ展示		
「黒田官兵衛と福岡」 (12月～ 5月)	「福岡の近世城郭 豊前の部」 (5月～7月)	本館3階エレベーターホール
「黒田十二騎」 (8月～10月)	「黒田長政」 (11月～1月)	
「宗像・沖ノ島」 (1月～ 3月)	「筑後川」 (3月～4月)	

(5) 出版

福岡県立図書館要覧 平成26年度
福岡県立図書館報 (No.70)
第48回 福岡県地方史研究協議大会

(6) 職場体験活動等受入状況

事業名	期間	活動内容等	参加者等
中学生職場体験活動	6月25日～26日 8月27日～28日 9月9日～11日 1月27日～29日	カウンター業務（貸出・返却等） 企画協力課業務（相互貸借作業・子ども図書館） 資料課業務（資料整理）	13名 （延べ28名） 計 4校
高校生インターンシップ	7月24日～26日	カウンター業務（貸出・返却等） 企画協力課業務（相互貸借作業・子ども図書館） 資料課業務（資料整理）	6名 （延べ18名）
県立高等学校初任者研修に係る体験活動研修	8月6日～8日	カウンター業務（貸出・返却等） 企画協力課業務（相互貸借作業・子ども図書館）	2名 （延べ6名）
教職員10年経験者社会貢献活動体験研修	8月6日～7日	カウンター業務（貸出・返却等） 企画協力課業務（相互貸借作業・子ども図書館）	2名 （延べ4名）
大学生図書館実習	8月12日～23日	カウンター業務（貸出・返却等） 企画協力課業務（子ども図書館） 資料課業務（資料整理）	5名 （延べ50名）
大学生プレインターンシップ	9月9日～13日 2月14日～19日	カウンター業務（貸出・返却等） 郷土資料課業務（カウンター・資料整理） 企画協力課業務（相互貸借作業・子ども図書館） 資料課業務（資料整理）	3名 （延べ12名）

(7) 福岡県公共図書館等協議会事業

事業名	期間	内容	参加者等
総会・館長等研修会	5月16日(金)	講演「図書館界の現状と課題について」 講師 常盤大学教授・熊本学園大学・松本大学松商短期大学部非常勤講師 内野 安彦 氏	50名
職員研修会	第1回 9月29日(月)	講演「選書・資料収集保存について」 講師 東京都練馬区立石神井図書館 小形 亮 氏	図書館職員・教職員・社会教育関係職員・ボランティア等 53名
	第2回 1月20日(月)	研修視察 大分県豊後高田市立図書館	公共図書館・公民館職員等 44名
理事会	5月16日(金) 11月28日(金) 3月19日(木)	事業計画等の検討 協議会内部の連携協力を図るための情報交換等 平成26年度事業報告等	
各種委員会	資料収集・保存委員会 7月10日(木) 1月29日(木)	「福岡県公共図書館等雑誌新聞総合目録」について 雑誌・新聞分担保存の調整について	
	研修委員会 11月7日(金) 2月26日(木)	県協議会主催の研修会の企画検討 研修体系の見直しについて	
出版		「平成26年度 福岡県公共図書館等概況」	

(8) 福岡県点字および録音図書連絡協議会事業

総会	7月4日(金)	会場 福岡県立図書館	65名
担当者連絡会	11月14日(金)	会場 大牟田市立図書館	
職員・ボランティア研修会	2月6日(金)	会場 北九州市立点字図書館 講演 「マルチメディアデジターの可能性 ～読みに困難のある子どもたちを 自分なりの読み方へ～」 NPO法人 NaD(ナディー) 代表 濱田滋子氏 副代表 国武 淳二氏	

福岡県立図書館の運営状況に関する評価結果（平成26年度実績）

図書館法第7条の3及び「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に基づき、平成26年度の運営状況についての評価を実施し、その結果に基づき運営の改善を図っています。

1 図書館評価（平成26年度）の概要

① 評価項目

図書館運営基本方針で定める5つの機能

- (ア) 資料収集保存センター機能、(イ) 資料情報センター機能、
 - (ウ) 郷土資料センター機能、(エ) 市町村立図書館の援助センター機能
 - (オ) 子どもの読書活動推進拠点機能
- の下に38個の評価項目を定め、評価項目毎に数値目標を定めました。

数値目標値は、23～25年度の3年間平均値と同程度以上としています。25年度の実績値と乖離している場合は、25年度の実績値と同程度としています。

② 評価方法

評価項目毎に達成率（26年度実績／26年度目標×100）を算定し、評価しました。

達成率	評価
95%以上	ほぼ達成できた (◎)
90%以上 95%未満	あとわずかで達成 (○)
90%未満	達成できなかった (△)

・機能毎の評価項目数に占める「ほぼ達成できた」以上の評価項目数の割合を出し、3分の2以上あればその機能は達成とします。

・機能毎の達成状況に占める「達成」とした機能数の割合を出し、3分の2以上あれば図書館全体として達成とします。

2 図書館評価（平成26年度）の結果

① 達成状況

機能毎及び図書館全体の達成状況は、次のとおりです。（括弧書きは、前年度の状況）

機能	評価項目数	◎以上の数	達成状況
ア 資料収集保存センター機能	5 (5)	5 (4)	達成 (達成)
イ 資料情報センター機能	13 (13)	11 (9)	達成 (達成)
ウ 郷土資料センター機能	7 (7)	5 (5)	達成 (達成)
エ 市町村立図書館の援助センター機能	5 (5)	4 (5)	達成 (達成)
オ 子どもの読書活動推進拠点機能	8 (8)	7 (7)	達成 (達成)
図書館全体	38 (38)	32 (30)	達成 (達成)

② 全体評価

①の達成状況で示しているとおり、図書館運営基本方針で定める5つの機能を全て「達成」したため、図書館全体としては「達成」していると考えています。

ただ、評価項目の実績値で見ると、前年度比100%に達していないものが15項目あるので、そのことを踏まえ、今後の運営に当たる必要があると考えています。

